

新年のごあいさつ



南越前町長
岩倉 光弘

新年あけましておめでとうございます。
町民の皆様方には、輝かしい新年をご家族お揃いでお迎えのこと、心からお慶びを申し上げます。
日頃は町政推進に当たり、温かいご支援とご理解ご協力を賜り、衷心より厚くお礼を申し上げます。

昨年は、一昨年末に中国湖北省武漢で発生した新型コロナウイルス感染症が瞬く間に全世界に拡がりパンデミックとなったところがあります。日本においても第一波、第二波、第三波と未だに感染拡大の衰えは見えず不安を抱える中で、年明けとなったところがあります。幸いにも本町において感染者数の増加はなく、これも町民の皆様の感染症への正しい認識及び感染症対策に一人一人がしっかりと取り組んでいただいている結果であり深く感謝を申し上げます。
それでは、この新型コロナウイルス感染症に対する事業の内容と、私が取り組んでおります令和2年度の「六つのまちづくり事業」の具体的な事業の取り組みと進捗状況につきましてご報告させていただきます。

最初に新型コロナウイルス感染症対策ですが、生活支援対策として、国の支援策である町民一人当たり10万円の特別定額給付金を町内3,419世帯に支給するとともに子育て世帯の支援のため児童手当を受給している世帯に対して児童一人当たり1万円の臨時特別給付金を支給いたしました。町独自の支援策として、子育て世帯の生活を支援するため18歳までの子ども一人当たり3万円の子育て支援特別給付金を支給しました。加えて、一人当たり10万円の特別定額給付金の対象とならなかった令和2年4月28日以降生まれた児童に対しても新生児特別定額給付金として

10万円を支給することいたしました。また、県が実施したマスク購入事業に対して自己負担の全額を町が補助を行い3,080世帯に対して助成金を交付いたしました。

感染症対策では、今庄診療所及び河野診療所にA1体温感知カメラ、空間除菌装置やポータルX線撮影装置などを整備し、役場庁舎などにはアクリル板による間仕切り等を設置いたしました。今後、庁舎、学校、保育所や町民が利用する施設に対してA1体温感知カメラの設置を予定しております。教育面では、児童生徒一人に対して1台の情報機器タブレットを整備し、ソーシャルディスタンスの観点から通学におけるスクールバスの増便を実施いたしました。

経済対策では、飲食店等の経営の持続化と家庭での調理負担の軽減のため商工会と協働して山海里応援弁当と銘打ち飲食店等活性化事業に取り組みとともに、電子決済サービス「PayPay」を活用した消費活性化ポイント付与事業を実施し、好評のため事業期間に1月から2月までの2か月間を追加いたしました。町内の小規模事業者の経営の持続化を図るため1事業者当たり10万円を交付する小規模事業者応援給付金を交付しました。旅行需要の早期回復を目的に町内宿泊施設を利用する町外観光客に対しカードを進呈する宿泊客誘客促進事業などに取り組んでおります。未だ先の見通せない新型コロナウイルス感染症対策ですが、国の新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金を有効に活用しながら多方面にわたる感染症対策と経済対策を実施することといたしますのでご理解をお願いいたします。

次に、六つのまちづくり事業の進捗状況についてですが、まず二つ目の「町民に優しいまちづくり」については、児童に対して放課後にゆとりある活動の場を提供するため旧南条幼稚園を南条児童館とする改修を進めております。また、聴覚障害が疑われる児童に対して新生児聴覚検査費用を助成し、妊婦に対してもインフルエンザ予防接種費用の全額助成を開始いたしました。

次に、二つ目の「安全安心して暮らせるまちづくり」であります。高齢者ドライバーの安全運転と交通事故抑止を図るためドライブレコーダーの設置を支援、犯罪の抑止のためウォータースタンド南条駐車場に防犯カメラを設置、強靱な町土を創り上げるため南越前町国土強靱化地域計画の策定に取り組んでおります。国・県・町道の建設促進、町道の消雪工事、上平吹橋架替工事等を実施し、東大道区の町営

住宅建設に着手、昨年度整備した湯尾北府団地については分譲後完売をいたしました。

次に、三つ目の「活き活きと働けるまちづくり」であります。遠距離の勤務地に高速道路で通勤する方の費用及び身体的負担を軽減するための支援事業を創設いたしました。昨年6月に日本遺産に認定された旧北陸線トンネル群などの鉄道遺産について敦賀市、滋賀県長浜市と連携して広域観光を進めております。また、地域の農業を守り農地の保全を図るため集落営農の組織化や担い手への農地の集積集約化を図るとともに、地域ぐるみでの獣害被害防止を支援し資材購入の助成を行いました。森林環境譲与税を活用して山際の森林現況の調査及び間伐材の搬出の促進を図るための支援を実施しております。水産物の安定供給等を図るため糠漁港離岸堤高上工事及び糠上長谷船揚場機能保全工事を実施しております。地方創生の拠点として、令和3年秋の開業に向け南条サービスエリア周辺地域振興施設の建築本体工事に着手いたしました。

次に四つ目の「人と文化を育むまちづくり」であります。今庄宿の国重要伝統的建造物群保存地区の今年の選定に向け文化庁に申し出を行いました。令和4年4月に町内3中学校を統合し町立南越前中学校を開校するための準備を進めております。

次に、五つ目の「住民主体のまちづくり」であります。が、コロナ禍であっても感染症防止を徹底し安心安全に地区公民館を拠点としたまちづくり活動が推進できるよう支援を行っております。

最後に、六つ目の「効率的な行政運営によるまちづくり」であります。職員の働き方改革の推進や電子決裁及びテレワーク制度の導入に取り組んでおります。町内における観光・移住施策等の立案や行動に取り組む学生の挑戦を応援するため、みらい創造活動推進事業に取り組んでおります。以上、新型コロナウイルス感染症対策と六つのまちづくり事業の進捗状況であります。コロナ禍の中、十分に推進できない事業もございますが、町民の皆様のご理解、ご協力をいただきながら、人口減少対策及び地域の活性化を図るべく事業を推進して更なる町民福祉の向上に努める所存でございます。

結びに、令和3年が、新型コロナウイルス感染症が終息し、町民の皆様にとりまして幸多き年となりますよう心よりご祈念申し上げます。

年頭のごあいさつ



南越前町議会議長
秋田 重敏

新年あけましておめでとうございます。
町民の皆様には、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃から町議会活動に温かいご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

議会といたしましては、本年も町民の皆様が安全で安心して暮らせる町づくり政策に対し、全力で支援してまいる所存でございますので、よろしくお願い申し上げます。

振り返りますと、昨年は新型コロナウイルスによる感染症が世界的に拡大し、国内においての感染者数も20万人以上となり、また、多くの尊い命が奪われました。福井県内においても300人以上の方が感染され、12人の方が亡くなられております。罹患された皆様的一天も早いご回復を心からお祈り申し上げますとともに、亡くなられた

方々に深く哀悼の意を表します。

感染の拡大に伴う影響として、休校措置、外出の自粛、飲食店などに対する休業要請、各種イベントの中止・縮小など、住民生活や経済活動が制限され、さらに医療現場においては、看護師不足による長時間勤務、重症者の病床確保など、医療従事者に対し多大な負担を強いる状況が現在も続いています。

感染症防止に尽力されている医療従事者、関係者の方々に感謝するとともに敬意を表したいと存じます。

また、昨年行われる予定であった東京オリンピック・パラリンピックが新型コロナウイルス感染症の影響により開催が一年延期となるなど、今までに経験したことがないような一年でありました。

一方、昨年は、台風の上陸が一回もないという大変珍しい年でもありました。

しかしながら、7月には豪雨災害により西日本をはじめとして日本各地において河川の氾濫、土砂災害が発生し多くの方が被災されました。災害で被災されました皆様に謹んでお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を心からご祈念申し上げます。

次に、政府においては、長期政権であった安倍

総理が退陣し、菅総理の誕生により新内閣が組閣されました。菅新内閣ではデジタル庁が新設されており、デジタル化が促進され、テレワークなどによる新たな勤務体制が推進されていくものと思

います。さて、本町におきましては、少子高齢化と人口減少が喫緊の重要課題であり、対策として若い世代の定住促進に資するよう、宅地分譲などの住宅政策を積極的に行うとともに、南条サービスエリア上り線に隣接した道の駅「南えちぜん 山海里」の整備が進められております。さらに防災対策、学校教育デジタル化など、町民の多様なニーズに対応した町政の推進を期待しております。

明るい出来事としまして、昨年6月には、本町をはじめとし、敦賀市、長浜市に点在する鉄道遺産が文化庁より本町二つ目の日本遺産に認定されました。

このことは、コロナ禍の中、鉄道遺産を大切に守ってきた地域の方にとっても、町にとっても大変喜ばしいことと存じます。

結びに、令和3年が、新型コロナウイルスワクチンの完成や治療薬の開発により感染症が終息し、町民の皆様にとって、希望あふれる実り多き年になりますことをお願いいたします。年頭のごあいさつとさせていただきます。